

## スピーカー壁掛け金具(EEX-KASPO1)組立説明書

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の内容で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

### 必ずお守りください

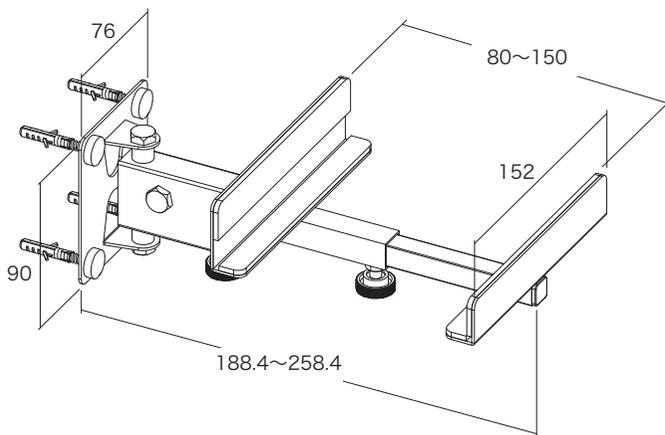
本製品の取付けには特別な技術が必要です。  
必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。  
お客様による工事は一切行わないでください。

※販売店様・工事業者様へ

- 組立説明書をよく理解していただいたうえで取付けてください。
- お客様の安全のため、専門的に壁面を診断のうえ、十分な強度を持つ最適な取付け方を決めて取付けてください。
- 作業は必ず大人二人以上で行ってください。
- 組立説明書で指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。
- 取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面にネジ穴、アンカーが残ります。ご了承ください。

奥行き80~150mmで重量18kg以下のスピーカーを設置可能です。

※形状により取付けできない場合があります。



耐荷重 18kg

組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

Ver.1.0

<用意していただくもの> 手袋(組立て時のケガ等を防ぐ為に必ず着用してください)、電動ドリル、プラスドライバー、水準器、4~7.5mmのドリルの刃、12mmと13mmのスパナ、鉛筆

### 安全上のご注意 (必ずお読みください)

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

- ⊘ この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。
- ❗ この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。
- ⚠ この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

### ■ 取付け場所について

**⚠ 警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ⊘ 強度が不十分な壁面や垂直でない壁面、平面でない壁面には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 湿気、温度の高い場所や、屋外、油煙のある場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ エアコンの近くやホコリの多い場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 通風孔をふさぐような場所や、天井には取付けしないでください。火災、故障、感電または落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 壁面はスピーカーと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。強度が足りないと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。強度が足りないと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。芯材がない場所では強度が足りず、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 壁面への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合場合があります。その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。
- ⚠ 壁面にはスピーカーの重量の4倍の力に耐える強度が必要です。

**⚠ 注意** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

- ❗ 各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。工事業者様が専門的に壁面を診断のうえ、最適な取付け方を決めて工事してください。
- ⚠ 本書に記載してある取付け方法は一例として参考にしてください。
- ⚠ 鉄柱や鉄骨には取付けできません。

### ■ 取付け方法について

**⚠ 警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

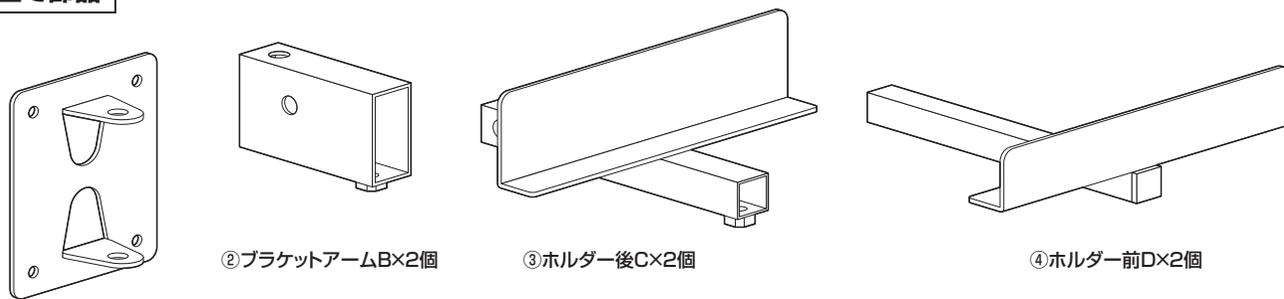
- ⊘ 奥行き150mm以上、重量19kg以上のスピーカーを取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 専門の取付け工事業者以外には取付け工事を行わないでください。工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 取付け作業は必ず大人二人以上で行ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ スピーカーケーブルの固定は適切に作業してください。破損、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⚠ 部品やスピーカーに手や指などを挟まないようご注意ください。

### ■ 取付け後のご使用について

**⚠ 警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ⊘ ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ ぶら下がったり、コードを引っ張るなど、荷重をかけないでください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ ボルトの調整、取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。不用意に行くと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 異常が発生した時はアンプなどの電源プラグを抜き、人が近寄れないよう処置をしてください。そのまま使用すると、落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ お子様に触れさせないよう十分ご注意ください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。

## 組立て部品



①壁面ブラケットA×2個

②ブラケットアームB×2個

③ホルダー後C×2個

④ホルダー前D×2個

⑦ナットM-C×4個

⑨ノブM-E×2個

⑫クッション大M-H×4枚

⑤ボルトM-A×2本(M8×70)

⑭ボルトW-A×8本(5×45)

⑧スペーサーM-D×4本

⑩ノブM-F×2個

⑬クッション小M-I×4枚

⑥ボルトM-B×2本(M8×25)

⑮アンカーW-B×8本

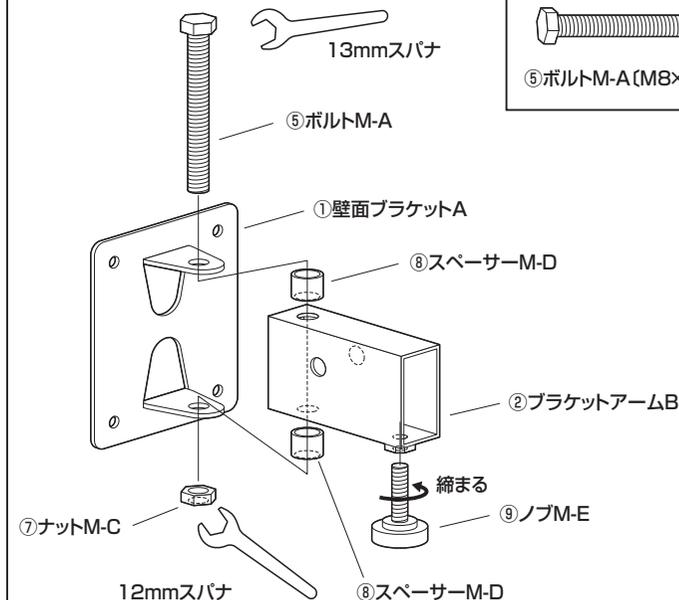
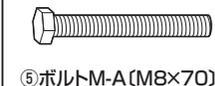
⑯カバーW-C×8個

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-KASPO1)と上記の部品番号(①~⑯)と部品名(カバーW-Cなど)をお知らせください。

## 1. ブラケットアームを壁面ブラケットに取付けます。

※ナットM-Cは、締めすぎないでください。

<使用ボルト>



## 2. 壁面ブラケットを壁面に取付けます。

※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取り付けてください。壁面はスピーカーと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

### <コンクリートの壁への取付け>

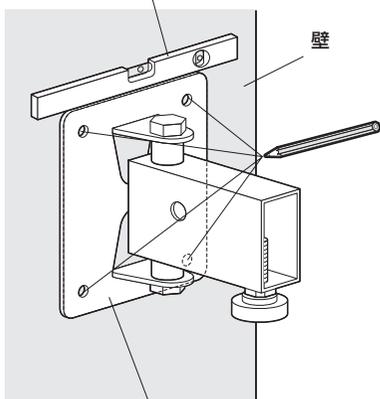
①壁面ブラケットを設置する壁に当てて、取付けの穴を開ける位置4ヶ所に印をつけます。

②ドリルを使い壁に印をつけた4ヶ所に直径6.5~7.5mm、深さ約50mmの下穴をあけます。

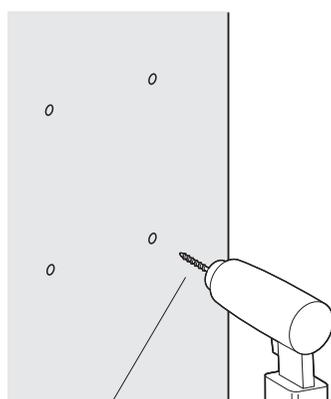
③下穴にアンカーW-Bを差し込みます。

④ボルトW-Aで取付けます。  
⑤カバーW-Cを折り畳んでボルトの目隠しをします。

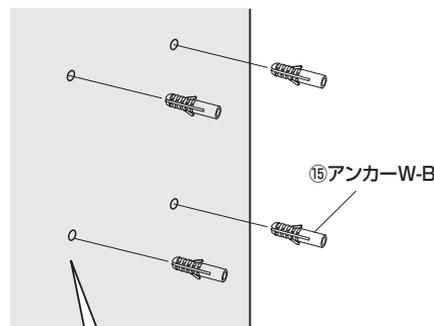
※水準器で水平垂直を確認して位置を決めてください。



①壁面ブラケットA



6.5~7.5mmのドリル

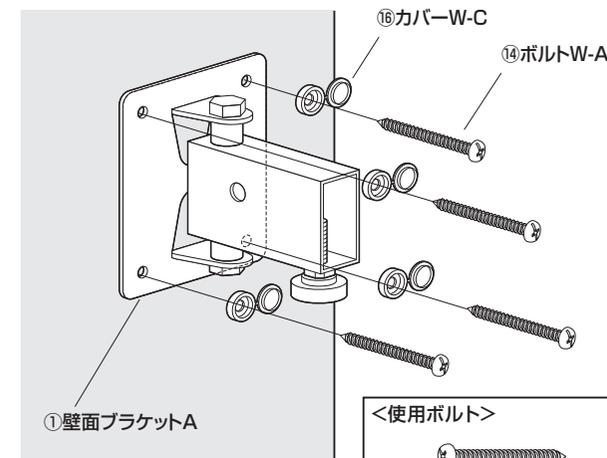


### 横から見た断面図

壁内部

⑮アンカーW-B

※アンカーW-Bは全て穴に入るように奥まで押し込みます。



①壁面ブラケットA

<使用ボルト>



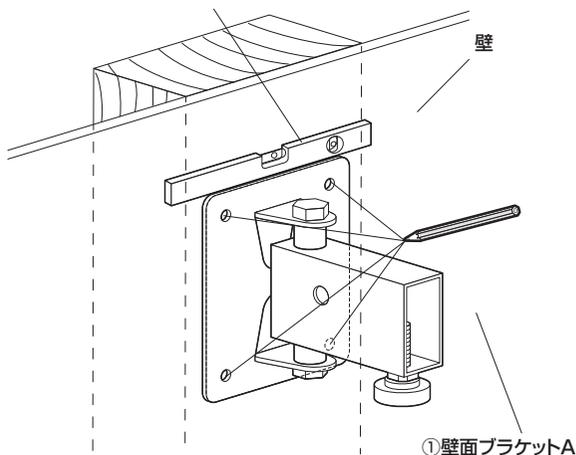
## 2. 壁面ブラケットを壁面に取付けます。

※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所を取付けてください。壁面はディスプレイと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

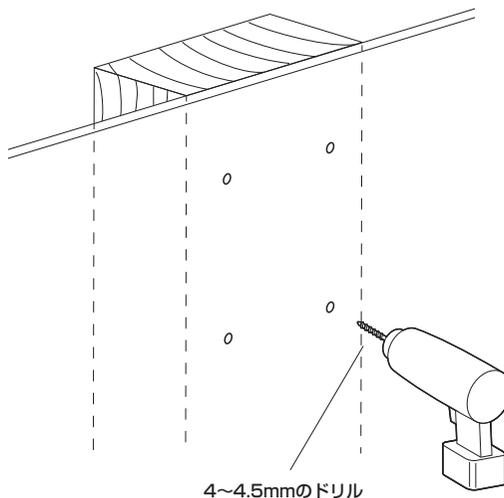
### <木製の芯材がある壁への取付け>

- ①壁面ブラケットを設置する壁に当てて、取付けの穴を開ける位置4ヶ所に印をつけます。

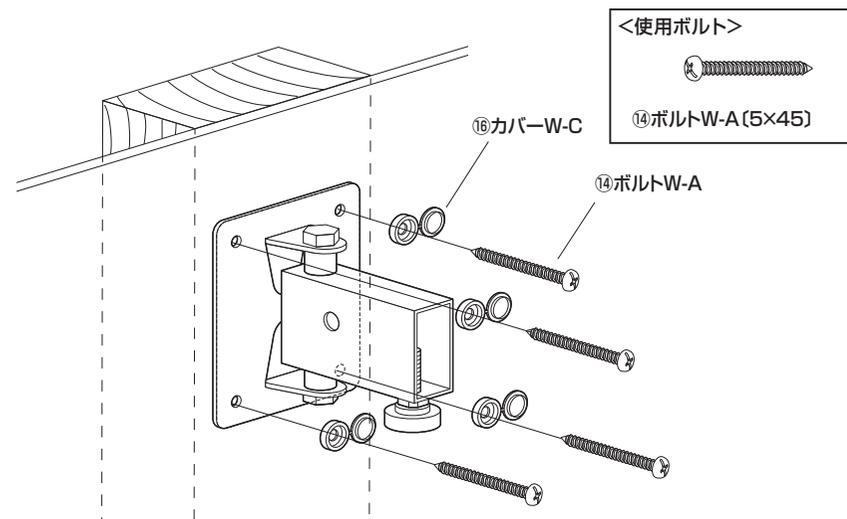
※水準器で水平垂直を確認して位置を決めてください。



- ②ドリルを使い壁に印をつけた4ヶ所に直径4~4.5mm、深さ約50mmの下穴をあけます。



- ③ボルトW-Aで取付けます。  
④カバーW-Cを折り畳んでボルトの目隠しをします。

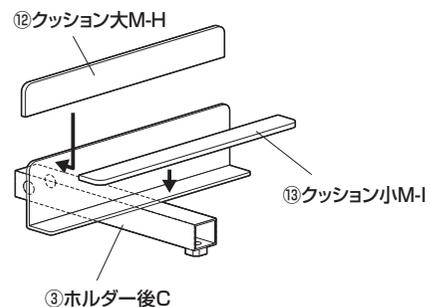
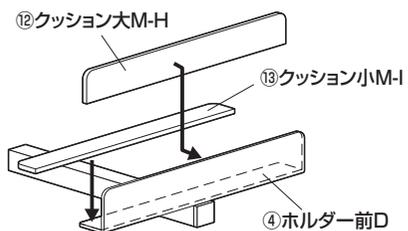


<使用ボルト>



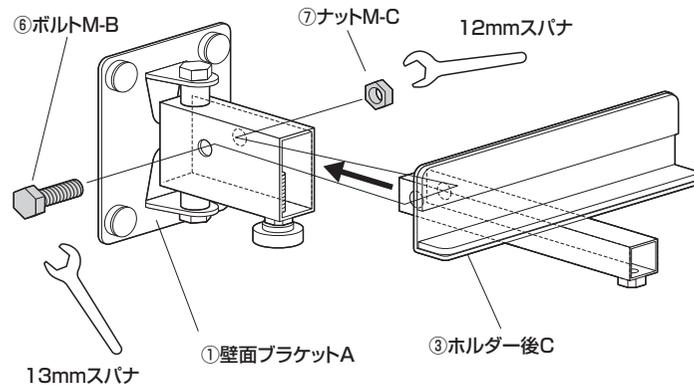
①④ボルトW-A(5×45)

## 3. クッションをホルダー前と後に貼りつけます。



## 4. ホルダー後をブラケットアームに取付けます。

※ホルダー後Cを壁面ブラケットAに差込み、ボルトM-Bで取付けます。  
※ナットM-Cは締めすぎないようにしてください。



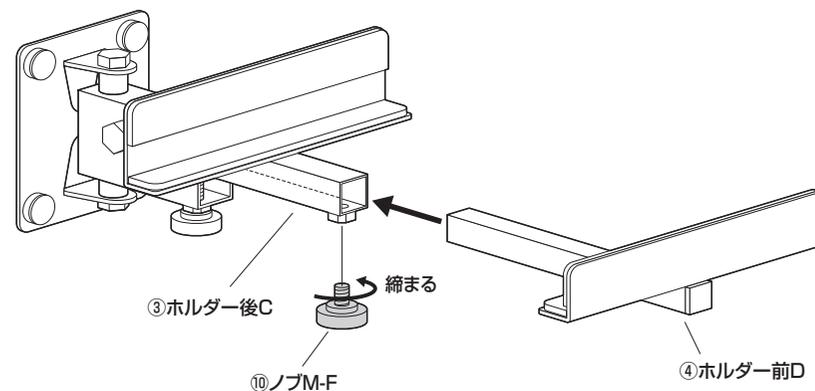
<使用ボルト>



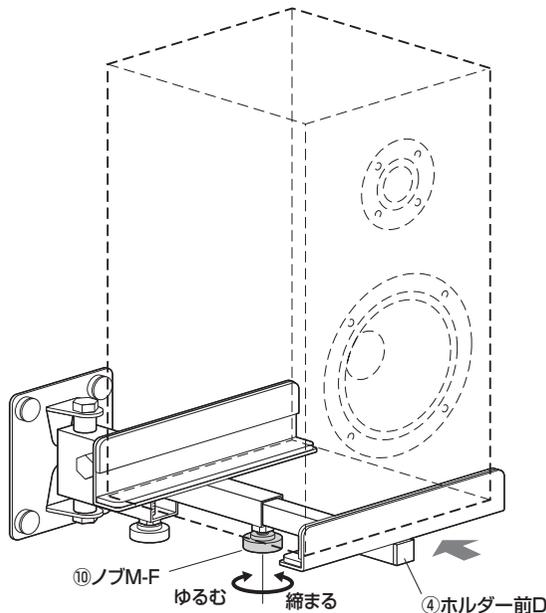
①⑥ボルトM-B(M8×25)

## 5. ホルダー前をホルダー後に取付けます。

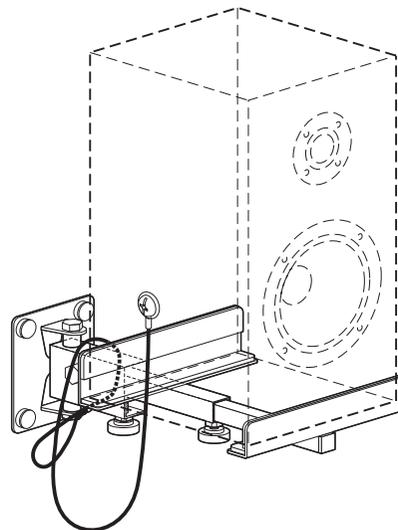
※ホルダー前Dをホルダー後Cに差込み、ノブM-Fで取付けます。



## 6.スピーカーを取付けて完成です。

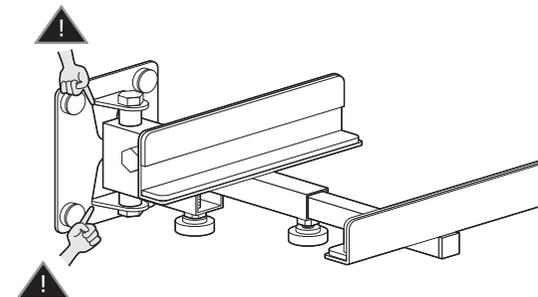


- ①ノブM-Fをゆるめ、ホルダー前Dが動く様になります。
  - ②スピーカーを載せます。
  - ③ホルダー前Dをスピーカーに強く押し当てた状態でノブM-Fを締めて固定します。
- ※スピーカーにぐらつき等がないか確認してください。

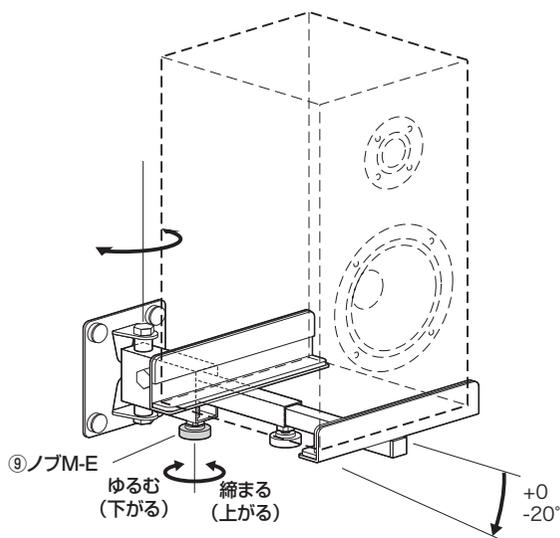


＜注意＞  
市販の落下防止ワイヤーなどを取付けて、地震などで落下しないようにしてください。

可動部分で指などはさまない様に注意してください。



## 各部の固さや角度調節、及び可動範囲



- ※ノブM-Eを緩めるとスピーカーの角度を下向きに変えることができます。  
※スピーカー(又はホルダー後C)が壁に当たるまで、左右に首を振ることができます。

## 使用上のご注意

- 必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取付けてください。壁面はディスプレイと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。
- 可動部分で指などはさまない様に注意してください。
- 18kgを超える機器は取付けしないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

## 製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店までお気軽にご相談ください。